

リニア実験線

時速500kmの夢が走るトンネル

緑の田園風景のなかを日本の最先端技術を集めた超電導磁気浮上式リニアモーターカーが、時速500キロで走り抜けます。昭和39年（1964）の東海道新幹線開業から30年以上を経て、増加する需要への対応力も限界を迎えつつあり、もうひとつの新幹線「リニア中央新幹線」の誕生が待ち望まれています。それこそリニアモーターカーが完成すれば、東京と大阪間は約1時間で結ばれることとなります。

この新たな交通システムの実用化にあたって、現在都留市の「山梨リニア実験線」で平成9年度から試験が行われています。日本特有の起伏に富んだ地形、環境を生かし、複線・カーブ・勾配・トンネルなどを使って、車両開発はもちろん大容量電力制御装置や列車の自動運転制御システムなどの開発が進められているのです。11年4月には最高時速552キロを達成（有人走行による鉄道の世界記録）するなど実用化に向け、試験は順調に進んでいます。

The "superconducting maglev" linear motor car is a synthesis of Japan's most advanced technology. Running tests are underway towards the realization of a transportation system allowing travel at 500kmph.

リニア実験線

●区間/境川村～秋山村（先行区間都留市～大月市で実験）●総延長/42.8km（先行区間/18.4km）●最急勾配/4%●設備/実験センター、見学センター、変電所、車両基地

